



DF NEWS DF ニュース 2013年6月号

特集：平成25年度 代議員会を開催

ホームページの紹介・全国研修会のお知らせ



保険の話

ふれあい体験のための保険

地域交流牧場全国連絡会では、ふれあい体験における事故などに備えて、2つの保険を用意しています。特徴は以下の通りです。

団体加入により、割引料金で加入することが出来ますので、まだ加入されていない場合は、ぜひご検討ください。

なお、定められた期日までに保険料をお支払いいただけない場合、保険に加入できないこともありますので、ご注意下さい。

①施設所有者賠償責任保険 ※保険料は会費に含まれています
会員がその施設の所有、使用、管理に起因して、入場者の身体、財物に損害を与えた場合に、会員が法律上の賠償責任を負担する際の補償。

くたとえば・・・>
牧場の柵が倒れて入場者にケガをさせた。
搾乳体験で、牛が体験者にケガをさせた。
従業員が機械操作を誤って、入場者にケガをさせた。

②生産物賠償責任保険 ※保険料は会費に含まれていません(実費徴収)
会員が製造販売もしくは取り扱った商品、またはふれあい体験等を行った結果に起因し、被保険者の占有を離れた後に発生した事故によって、入場者の身体、財物に損害を与えた場合に、会員が法律上の賠償責任を負担する際の補償。

くたとえば・・・>
動物ふれあい体験後に、体調が悪くなって入院。
→原因は動物に付着していた病原菌O-157等

注) 特に酪農教育ファーム認証牧場は上記2つの保険に加入する必要があります。

酪農教育ファーム

認証規程が変わりました



大きな変更は以下の2点です。

①ファシリテーターの認証更新研修会(スキルアップ研修会)は、酪農教育ファーム推進委員会が開催したものだけではなく、予め承認された「酪農教育ファーム地域推進委員会」が開催する研修会も認める。

②「規則」に「酪農教育ファーム活動を実施する際には、『交流活動における感染症防疫マニュアル』(平成22年、中酪・交牧連策定)」を遵守する」という項目を追加する。

事務局からおねがい

皆さまの 会費が運営を支えます



年会費は施設賠償責任保険への加入費用や活動費として有効に活用しています。円滑な事業運営を実現するため、定められた期日までに年会費・保険料等の払い込みをお願いいたします。

NEWS



インフォーマーシャル「おねがい MILK GOD」

新たな MILK JAPAN が 25 年度からスタートしています。中央事業として、全国的に露出度の高い TV の広告枠を活用し、MILK JAPAN 運動を通じた牛乳飲用を訴求しています。ミルクゴット様が色々な悩みに答えてくれます。皆さん、見てくださいな!



日本テレビ系「ZIP!」等
4/1~1年間、
毎週月曜日7時30分頃から
30秒間放送



第9回 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテストの開催

平成 25 年 10 月 30 日(水)に、パシフィコ横浜展示ホールCにおいて、第9回 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテストが開催(最終審査と表彰式)されます。(一次審査及び二次審査は別会場で10月28日から実施)

詳細な内容は今後、(一社)中央酪農会議サイトの新着情報に掲載しますので、ご確認ください。

<http://www.dairy.co.jp/>

国内最大の牛乳乳製品の展示・商談会を開催(10月・横浜)

上記 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテスト同日、同会場において、「Japan Milk Collection 2013」と題した国内最大の牛乳乳製品の展示・商談会が(一社)Jミルク主催で行われます。

約 3000 人の専門バイヤー(食品小売業者、食品流通業者、フードサービス事業者、食品製造事業者、メディア関係者等)と日本全国約 200 事業者が集い、牛乳乳製品のさらなる価値向上とビジネスの拡大を目的に開催されます。

出席希望、内容詳細については、下記サイトにてご確認ください。

<http://www.j-milk.jp/jmc2013/index.html>

事務局からのご挨拶

平成25年度に入って、初めてのDFニュースです!
恐縮ですが、自己紹介を少々。4月より事務局長を務めさせていただくことになりました、藤原です。
今年度から事務局長・担当者共に変更になり、皆様には色々ご迷惑をおかけするかもしれませんが、皆様の活動が円滑に進むよう頑張りますので、今後ともよろしくお願いたします。では、では!



発行日/2013年6月 発行/地域交流牧場全国連絡会 〒101-0047 東京都千代田区神田-1-12 コーポビル9F (一社) 中央酪農会議内
TEL03-3219-2611 FAX03-3219-2622 ホムページURL <http://www.dairy-farm.jp/>

新会長・廣野正則(広野牧場・香川県)



地域交流牧場全国連絡会は、今年で14年目を迎えます。今までやってきた活動では、多くの成果が出ていると思います。今後は、平成25年度の事業計画に基づいて事業を推進してまいりますので、ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

今年度は、昨年全国研修会で立ち上げが十分できなかった「交牧連クラブ・ユース」の活動を充実させ、次の世代を作っていくこと、また、東北支援においては、続けていくことが重要であると思いますので、今年も成果を出せるようにしたいと思います。

問題も山積していますが、各指定団体、会員の皆様の総意を持って、地域交流牧場全国連絡会が益々、発展していけるように頑張ります。

平成25年度地域交流牧場全国連絡会 代議員会を開催

日時:平成25年5月23日(水) 13:00～ 場所:八重洲ホール地下2階 大ホール



平成25年度・理事

平成25年5月23日(木)東京で代議員会を開き、代議員、理事及び関係者約60名が集まり、平成24年度の活動及び収支報告、平成25年度の活動及び予算計画が審議、承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選では、廣野正則副会長(香川県)を新たに会長に選任。また新副会長に清水ほづみ理事(愛知県)を選任、吉田恭寛副会長(埼玉県)を再任しました。

来賓あいさつ

昨年4月から放射能検査の基準値が厳しくなりましたが、関係者の皆様の努力のおかげで、数値は非常に低いレベルで落ちついています。しかしその一方で、被災地をはじめとして牛乳乳製品が売れない、風評被害があると聞いています。今年に入り、中間指針が見直され、新たに風評被害の発生が認められた県もあります。また除染作業も残っているので、国としても引き続き支援を進めていきたいと思っています。



本田光広氏
農林水産省生産局畜産部
牛乳乳製品課課長補佐

生乳生産に関し、24年度は前年を上回る生産でしたが、今年度に入り減少傾向です。酪農資材の高騰など、酪農経営が厳しい中では、コストの増加分をどうしても乳業者に負担してもらわなければなりません。消費者にも価格の負担をお願いしたい状況ですが、中々難しいのが現状です。そのような中で、本会議としては、消費者に酪農の現状をご理解いただき、支援をしていただくことが重要だと考えます。



門谷廣茂氏
(一社)中央酪農会議
専務理事

平成25年度の活動計画(抜粋)

TPP問題等を含む最近の酪農をめぐる情勢下において、地域で牧場が取り組む消費者交流活動は、今後の酪農存続にとって重要な位置づけを持つことから、将来にわたり安定的な活動を推進していくため、関係団体と連携して次の事業を推進する。

- 1 全国研修会の開催**
ワールドデイリーサミット2013の開催時期と合わせることで、世界の酪農乳業関係者との交流を図る。
- 2 ワールドデイリーサミット2013への参加検討**
ワールドデイリーサミット2013の開催内容を吟味しつつ、他団体との連携を含めた出展参加を検討する。
- 3 東日本大震災被災地への支援**
東北ブロックを中心として、小学校等への出前授業を通じ、被災児童生徒のための酪農体験を実施する。
- 4 新規会員及び後継世代の育成**
今後の消費者交流等の事業を担い、地域酪農に貢献していく観点から、新規会員及び後継世代の育成を図る。
- 5 防疫対策の推進**
防疫上のリスクが生じないよう、消費者に注意喚起を徹底するとともに、必要な情報を積極的に発信する。
- 6 ホームページ・DFニュースによる情報提供**
ホームページを通じ、継続的でタイムリーな会員への情報提供を行う。また、会報DFニュースを発行する。

1.理事(会長・副会長・監事)

役職	氏名	牧場名(都道府県・ブロック)	備考
会長	廣野 正則	広野牧場(香川県、近畿・中国・四国ブロック)	製造担当
副会長	吉田 恭寛	吉田牧場 牧場のログハウス「ちちぶ路」(埼玉県、関東ブロック)	広報担当
	清水 ほづみ	清水牧場(愛知県、東海ブロック)	交流担当
監事	藤田 毅	フジタファーム(新潟県、北陸ブロック)	広報担当
	内橋 政敏	(一社)中央酪農会議 事務局長(学識経験者)	

2.理事(部会担当別)

部会名	氏名	牧場名(都道府県・ブロック)	備考
交流部会	花房 亨一郎	フラワーステーション花房牧場(兵庫県、近畿・中国・四国ブロック)	部会長
	橋本 千子	橋本牧場(北海道、北海道ブロック)	新任
	竹中千恵子	上床牧場 アンの家(鹿児島県、九州ブロック)	新任
	西田 敦子	全国退職女性校長会 会長(学識経験者)	
製造部会	安原 栄蔵	ABITANIAジャージーファーム(青森県、東北ブロック)	部会長
	人見 幸雄	体験館TRYTRYTRY(栃木県、関東ブロック)	
	大藪 真裕美	オオヤブデイリーファーム(熊本県、九州ブロック)	新任
広報部会	小笠原 和美	(有)小笠原牧場(愛知県、東海ブロック)	部会長
	渡辺 隆幸	渡辺体験牧場(北海道、北海道ブロック)	新任
	小沢 正	小沢牧場(福島県、東北ブロック)	新任

3.退任理事

氏名	牧場名(都道府県・ブロック)
村上 隆彦	むらかみ牧場(北海道、北海道ブロック)
大黒 敦子	ノースブレインファーム(北海道、北海道ブロック)
高宮 晴彦	くずまき高原牧場(岩手県、東北ブロック)
中島 構治	(有)ナカシマファーム(佐賀県、九州ブロック)
吉村 信子	吉村牧場ミルクファーム(福岡県、九州ブロック)



ホームページをリニューアルしました

一般消費者が「牧場に行ってみたくなる」をコンセプトに、24年度にホームページをリニューアルしました。イラストも刷新し、日本全国の交牧連会員を紹介し、各牧場のホームページにリンクを行い、またスマートフォンからは直接電話がかけられるよう修正。「牧場の一日」、「安全への取り組み」などのコンテンツも追加しました。今後も、より見やすく、わかりやすく、楽しいホームページにしていきますので、ご期待ください。

<http://www.dairy-farm.jp/>

皆さん、見てください!

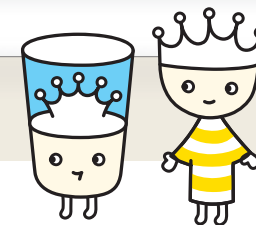


twitter の場合は、ハッシュタグ「# 交流牧場」を入れてつぶやくと、トップページに投稿が掲載されます。またハッシュタグ「# 交流牧場」の部分をクリックすると、このハッシュタグをつけてつぶやいた人が、タイムラインで出てきます。

一番変わった点は、サイドにtwitterとfacebookの窓を付けたことです。facebookでは、地域交流牧場全国連絡会の公式ページを設置。今までと違い双方向の情報発信ができるようになり、皆さまからの情報もすぐに一般消費者にお届けできます。また「いいね!」を押していただくと、今後、情報が自動的に送られてくるようになります。

平成25年度全国研修会のご案内

平成25年度の全国研修会は、10月29日に東京都内での開催を計画しています。内容は、福井みどり教諭に「酪農教育ファームの教育的な効果について」ご自身の実践をもとに基調講演をいただき、その後グループディスカッションを行う予定です。また、ワールドデイリーサミット2013の開催時期と合わせることで、会員がワールドデイリーサミット2013に参加し、世界の酪農乳業関係者との交流を図ることも予定しています。さらに、翌30日には第9回ALL JAPANナチュラルチーズコンテスト(主催:中央酪農会議)の最終審査、表彰式も予定されています。皆さまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。なお、参加者に対しては宿泊費助成5,000円/人を行う予定です。※25年度は新人研修会を併催いたしません。



開催概要

- 日時:平成25年10月29日(火) 13:30~20:00(予定)
場所:東京都内
概要:
(1) 基調講演:福井みどり教諭(新宿区立東戸山小学校)「牧場体験により変容する子どもたち—学芸会でのミュージカルより—(仮題)」
(2) グループディスカッション 酪農教育ファームの教育的効果について
(3) 交流会(参加費は5,000円を予定)